

理科への学習意欲と学力の向上に向けた授業改善のツールとして

- (1) 全国の学校が教育目的の範囲で無償で利用できます
- (2) 個人情報は一切入力できないシステムですので、利用に伴ってプライバシーを侵害する可能性はありません
- (3) 児童生徒が自分のタブレットでQRコードを使ってサイトにアクセスし、短時間に以下の7項目に回答（四肢選択）し、教員がその自動集計結果を参照可能になるシステムです

科学的リテラシー指標5項目の状況

- ①理科の授業の内容はよくわかる (自己効力感 (自信))
- ②理科の勉強は好きだ (興味・関心)
- ③理科の勉強は大切だ (重要性)
- ④理科を勉強すれば、私のふだんの生活や社会に出て役立つ (有用性)
- ⑤私が将来はたらく職業は、理科に関係している (職業との関連性)

主体性・協調性の状況

- ⑥理科の授業では、自分のやるべきことを考えながら、進んで学習に取り組むことができる (主体性)
- ⑦理科の授業では、他の人と協力したり分担したりして学習を進めることができる (協調性)

選択肢「4当てはまる」「3どちらかという当てはまる」「2どちらかという当てはまらない」「1当てはまらない」から1つを選択

(4) 学校が上記以外の質問項目を追加して測定できます

(5) 各児童生徒、学級毎、学年毎に、回答が集計され、過去からの変化が把握できる他、全員が「4当てはまる」を選択する状態にどれだけ近いかを「指標値」(0~100の数値)で把握できます

(6) 科学的リテラシー指標に関する意識の変化が児童生徒の理科学力に与える影響がこれまでの研究で明らかになっており、指標値を高めることが理科学力の向上につながると予測されます

集計画面の一部(例)

	指標値	4当てはまる	3どちらかという当てはまる
学年 中3(9)			
Q1 理科の授業の内容はよくわかる	67	30%(3人)	50%(5人)
Q2 理科の勉強は好きだ	60	10%(1人)	60%(6人)
Q3 理科の勉強は大切だ	60	10%(1人)	70%(7人)
Q4 理科を勉強すれば、私のふだんの生活や社会に出て役立つ	57	10%(1人)	60%(6人)
Q5 私が将来はたらく職業は、理科に関係している	80	50%(5人)	40%(4人)
Q6 理科の授業では、自分のやるべきことを考えながら、進んで学習に取り組むことができる	60	20%(2人)	50%(5人)
Q7 理科の授業では、他の人と協力したり分担したりして学習を進めることができる	63	10%(1人)	70%(7人)

詳細情報
利用方法



研究題目「中核的理科教員を活用した理科授業力向上オンライン研修プログラムの開発」
令和3~6年度科学研究費補助金基盤研究(B) 研究代表者：小倉 康・埼玉大学教育学部教授

(利用条件) 利用者が特定されることはありませんが、利用者は使用によってシステムに入力されたデータを、研究代表者が研究目的で分析に用いることを承諾したと見なされることに同意いただくことが利用の条件となります。

(利用) 以下のホームページで利用マニュアルをお読みください。